



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION

岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

Tel. Fax058-230-1118, 内線 9552

Email: kumiai@gifu-u.ac.jp

HP: <http://www.gifunion.gr.jp>

(岐阜大学 職員組合 検索)



賃下げ反対闘争中間報告

すでに皆様は7月分の給与明細を見られて、大幅賃下げの重みを実感されていることと思います。以下では、「賃下げ説明会」以降の動きと、今後の戦い方をまとめてみました。

経緯

- 6/28 過半数代表が学長に不同意署名を手渡し提出のため面会を要請、拒否される。その後、この問題では今後も過半数代表とは会わないとの連絡を事務担当者から通知される。
- 6/28 賃下げに関する質問事項に対する書面での回答と、団体交渉を求める要求書を提出。
- 7/1 賃下げ強行実施される。
- 7/5 大学当局から、質問事項に対する回答が渡される(HP参照)。団体交渉については、日程調整がつかないため7月中は困難との連絡が事務担当者からなされる。
- 7/14-15 全大教第44回大会で、裁判闘争を含めた賃下げ反対闘争の方針を決定、各単組に対しても、裁判闘争を視野に入れた戦いを要請する。

不同意署名340名集まる(7/19 現在)。

7/19 現在で賃下げ対象者 1/3 を超える職員の皆様から、賃下げへの不同意と、説明を求める署名が寄せられました。特に、組合員でない多くの方からも、自発的な署名や、賛同意見メールが寄せられています。部局別、職種別の集計は過半数代表のHP(岐阜大学、過半数代表、[検索])に掲載されていますのでご覧ください。今後も、学長への不同意署名提出のための面会を求めていきます。

今後の賃金闘争の戦い方

野田首相は、国会答弁などで、今回の賃下げが震災復興のためではなく、民主党の公約を受けた「国家公務員の賃金水準の切り下げ」であることを明確にしています。そのため、このままでは2年後に賃金が回復する保証は全くなく、(特例法とは別の形をとるにせよ)切り下げられた賃金水準に俸給自体が合わされてしまう可能性があります。さらに政府は、賃金の切り下げの次のステップとして、退職金の大幅削減を計画しています。今回の賃下げを、(震災復興という)特殊事情と考えるのは、極めて危険です。

今後は、組合は団体交渉の中で、政府の言いなりに行動することの(大学にとっての)危険性を指摘し、大学の予算全体の見直しを行う中で、岐阜大学として可能な代替措置、賃下げ幅圧縮の検討を大学執行部に求めていきます。またそのために、上記の問題を検討するWGを設置して、当局との交渉能力を高めます。

現在の「政治情勢」を考えると、大幅な譲歩を勝ち取ることは難しいかもしれませんが、しかしながら、私たちが諦めずにねばり強く意思表示をしていく中で、職場の、大学の、また日本の意識を変えていく、目先の利益ではなく長期的視点を持って行動していく必要があります。